

0. 今回お渡ししたもの

反応カセット(本体)・検体処理液(スクイズチューブ)・滴下チップ(ふた)・綿棒・・・各1個

1. 検体採取 「鼻腔ぬぐい液検体」か「唾液検体」のどちらかで採取

鼻腔ぬぐい液検体

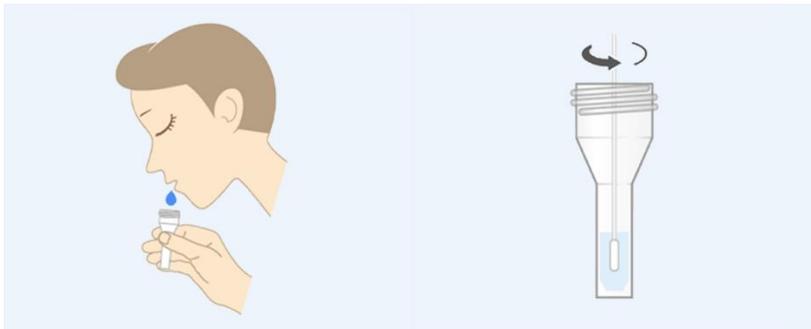


① 綿棒を鼻孔入り口から
2cm程度、粘膜部分
をぬぐうようにしてゆっ
くり挿入します

②綿棒を5回程度ゆっく
り回転、させます

③5秒程度静置し、綿球
を十分湿らせた後そっと
引き抜きます

唾液検体



① 滅菌容器などに1mL
程度の唾液を採取しま

②唾液採取用綿棒を容器
に浸し綿棒を回転させ、全
体にしみこませます

注意:

唾液採取用滅菌容器および唾液採取用綿棒は本製品に付属していません。別途ご用意ください。唾液採取の30分前から、飲食、喫煙、歯磨き、口内洗浄等はお控えください。

2. トップシールをはがす



検体処理液(スクイズチューブ)の黄色のトップシールをはがします。

3. 検体抽出



検体を採取した綿棒の綿球部分をすみやかにスクイズチューブ内の検体処理液に浸し、綿球部分を挟み押さえながら10回程度回転、その後綿球部分を絞り出しなから綿棒を取り出します。

4. 滴下チップをはめる



調製した試料液の入ったスクイズチューブに滴下チップをはめ込みます。

5.滴下



試料液を紫色の検体滴下部 2 滴滴下します。
(* 反応カセットと滴下チップの先端を 10mm
以上離して、滴下ください)

6.押す



試料液滴下後、すみやかにオレンジ色の凸部
を押し、反応を開始し、20 分間水平に静置し
ます。
反応開始後は判定部に直接風が当たらないよ
うにしてください。

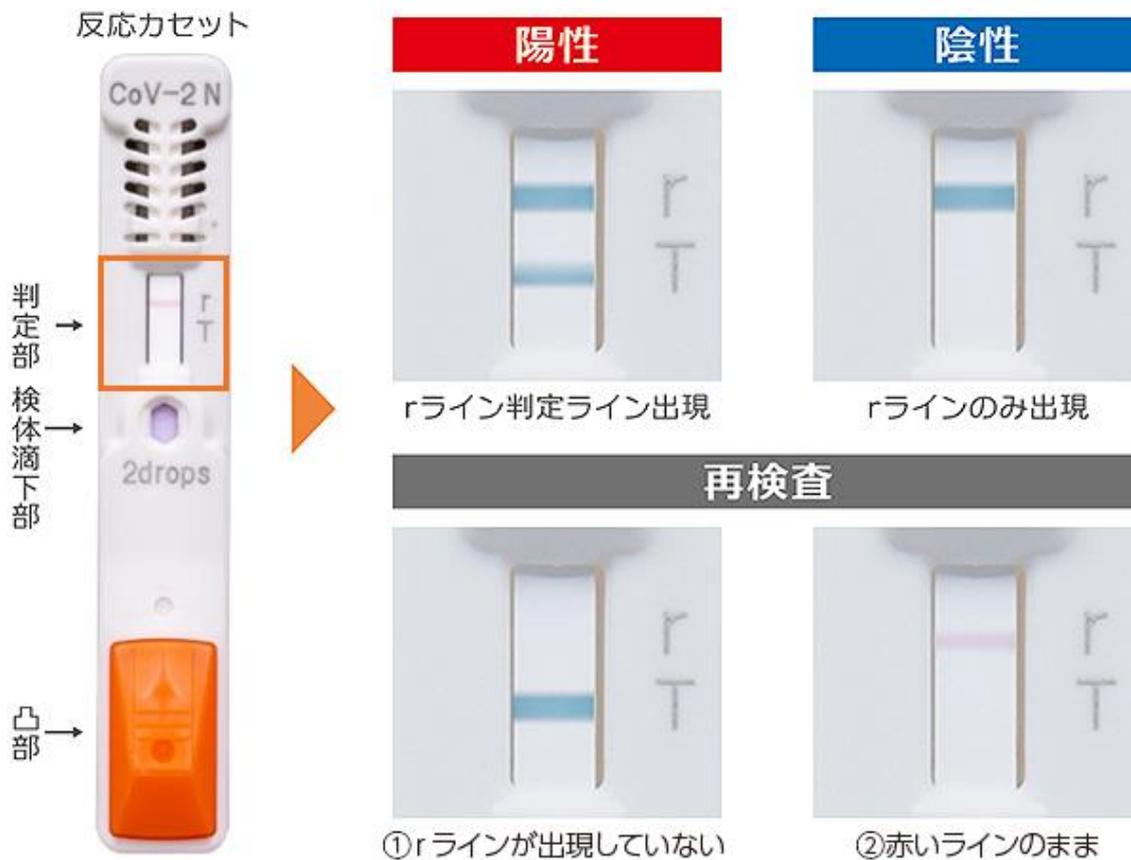
7.反応時間

20 分静置します

20 分後に判定を行います。ただし、20 分より前でもレファレンスラインと判定ラインが出現した場合、「陽性」と判定できます。

8.判定

レファレンスライン(r)と判定ライン(T)を確認して判定します。



- 陽性、陰性の判定
本品は 20 分で判定を実施してください。ただし、20 分より前でもレファレンスライン(r)と判定ライン(T)が出現した場合、「陽性」と判定できます。また、20 分判定時点では「陰性」でその後「陽性」となった場合は「陰性」と判定してください。
- 再検査の判定
再検査① 青色のレファレンスライン(r)が認められなかった。
再検査② 赤いラインが消失しなかった。
新しい反応カセットを用いて再検査を行ってください。

※注意事項

本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV-2 感染を否定するものではありません。